

鴨川市地域公共交通会議 令和5年度第3回会議 会 議 録

日時：令和5年11月22日（水）
午後2時30分から午後3時40分まで
場所：鴨川市役所 7階会議室

1 会長及び委員

役職等	所属・職	氏 名	備 考
会長	鴨川市 副市長	平川 潔	
副会長	社会福祉法人鴨川市社会福祉協議会 事務局 局長	羽田 幸弘	
	日東交通株式会社 運輸部 部長	高橋 晴樹	
	有限会社鴨川タクシー 代表取締役	本多 信介	
	日東交通労働組合 安房支部 支部長（鴨川担当）	高橋 克博	
	国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	高橋 直人	
	千葉県鴨川警察署 交通課 課長	竹内 久泰	
	千葉県総合企画部交通計画課 企画調整班 班長	小松 直人	
	鴨川市校長会 会長	岡野 美智代	
	東日本旅客鉄道株式会社 安房鴨川駅 駅長	石井 孝典	
	利用者代表	平野 元美	

【欠席委員】

役職等	所属・職	氏 名	備 考
	一般社団法人千葉県バス協会 専務理事	成田 斉	
	小湊鐵道株式会社 バス部 部長	深山 宏樹	
	千葉県安房土木事務所 鴨川出張所 所長	石渡 照康	
	利用者代表	藤本 文子	
	利用者代表	里見 桂子	

2 説明者

所属・職	氏 名	備 考
千葉トヨタ自動車株式会社 営業支援部 営業推進課 副課長	平野 照明	
千葉トヨタ自動車株式会社 営業支援部 営業推進課 担当課長	吉田 慎矢	

3 事務局

所属・職	氏 名	備 考
鴨川市企画総務部 部長	大久保 孝雄	
鴨川市企画総務部企画政策課 課長	滝口 俊孝	
鴨川市企画総務部企画政策課 課長補佐	田中 仁之	
鴨川市企画総務部企画政策課 住み続けたいまちづくり係 係長	森 和之	
鴨川市企画総務部企画政策課 住み続けたいまちづくり係	加藤 貴啓	

[配布資料]

- ・席次表、出席者名簿、委員名簿
- ・資料1 鴨川市公共交通の令和4年度実績について
- ・資料2 鴨川市コミュニティバス循環線運行計画（案）
- ・資料3－1 デマンド型乗合送迎サービス「チョイソコかもがわ」実証運行計画（案）
- ・資料3－2 チョイソコかもがわ 運行車両の割振り（案）
- ・資料3－3 運行評価指標（案）
- ・資料4 鴨川市コミュニティバスの一部路線の休廃止について
- ・資料5 鴨川市地域公共交通計画の評価等結果（令和4年4月～令和5年3月）
- ・参考1 鴨川市コミュニティバスの再編に関する地区別説明会 開催結果報告書
- ・参考2 民間路線バス金谷線・長狭線の再編及びチョイソコかもがわの実証運行に関する地区別説明会 開催結果報告書

■議事要旨

1 開会（午後2時30分） 司会 企画総務部企画政策課 滝口課長

- ・配布資料の確認
- ・会議の成立、公開の報告

2 会長あいさつ

（要旨）

ご多用の中、出席いただき感謝する。人事異動により、今回から石井安房鴨川駅長が新たに委員に就任された。よろしく願いしたい。

本日の会議では、1件の報告に加え、4件の議件について、ご協議をお願いします。

詳しくは、事務局から説明があるが、忌憚のないご意見をいただけるようお願い申し上げ、会議の冒頭に当たっての挨拶とさせていただきます。

3 議事 議長 平川会長

会長が議長として進行

会議録署名人として、高橋克博 委員を指名

報告案件1 鴨川市公共交通の令和4年度実績について
(事務局から、資料1に即して説明)

意見等なし

協議案件1 鴨川市コミュニティバス循環線運行計画(案)について
(事務局から、資料2に即して説明)

高橋(直)委員：道路運送法に基づく申請等の手続きは、いつ頃行う予定か。

事務局：運行事業者に手続きをしていただくことになるが、12月～1月頃を予定している。

↓

資料のとおり承認

協議案件2 デマンド型乗合送迎サービス「チョイソコかもがわ」実証運行計画(案)について
(事務局から、資料3-1・資料3-2・資料3-3に即して説明)

小松委員：実証運行計画案の中で、実証運行期間を1年間とし、その後、本格運行を目指すところがあり、資料3-3で示されている運行評価指標に基づいて判断されると思われるが、評価はいつ頃行う予定か。また、評価指標を地域の方々が認識する必要もあろうかと思うが、共有の仕方はどのように考えているか。

事務局：指標に基づく評価は、来年の秋頃を予定している。また、評価指標の地域住民との共有については、今後行う説明会などの場において周知し共有していきたいと考えている。

高橋(直)委員：運賃割引の表中に、「通学に利用する小・中学生の利用 無料」と「小学生地域内移動200円」と小学生に関する2つの標記があるが、有料の場合は、外出や塾などで利用する場合ということか。

事務局：お見込みのとおりで、有料となる場合は、通学目的以外で利用する場合を想定している。

高橋(直)委員：令和7年4月から本格運行を見込んでいるということで、今後、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の活用を見込んでいるようであれば、早めに関東運輸局交通企画課に確認をしていただきたい。また、来年度から地域公共交通計画との連動化が始まるので、必要であれば、地域公共交通計画の改定についても検討・確認してほしい。

事務局：江見地域と天津小湊地域については、いずれかの機会に計画を改定し、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の活用を図りたい。要件についても関東運輸局交通企画課に確認しており、概ね満たしていることは確認している。

本多委員：実証運行計画案の中の「運行車両」について、現在、常用車両の1台が一般常用の車両と併用となっているが、今後、都合によっては併用から乗合専用に変更することも考えている。

事務局：車両の併用がある場合には、その旨を運行計画に記載し本会議で協議することが必要であることから、「協議が調っていることの証明書」には申請時の内容で記載している。乗合専用に変更する場合には、事前にご相談いただきたい。

平川会長：次年度から変更する予定があるか。

本多委員：変更時期は未定であるが、車両の増減のタイミングで変更することも考えている。

高橋(直)委員：道路運送法に基づく申請等の手続きは、先ほどと同様に、12月～1月頃の予定という理解でよいのか。

事務局：おっしゃるとおり。

羽田委員：評価指標について、長狭地域での実証運行の実績を基にしているとの説明だったが、当該地域においては、地域が一体となって利用促進等に取り組んできた経緯がある。新たに運行される江見地域や天津小湊地域でも同様に取り組まないと評価指標の達成が難しいのではないかと考えている。事業主体、運行事業者、行政が連携し、丁寧な説明をしていく必要がある。また、路線バスの利用は、時間までにバス停に行けば乗れるという単純なものだったが、乗合タクシーの利用は、事前の会員登録と予約が必要で煩雑なイメージがある。説明会を開催しているが、実際の利用者が参加できていなかったり、そもそも情報が届いていない可能性もあることから、今後、改めて説明会を開催するときには、周知も含めてより丁寧に行っていただきたい。行政は事業者任せではなく、共に取り組んでほしい。

事務局：運行主体の千葉トヨタ自動車とともに各地区に出向いて、より丁寧な説明をしていきたいと考えている。

↓

資料のとおり承認

協議案件3 鴨川市コミュニティバスの一部路線の休廃止について
(事務局から、資料4に即して説明)

高橋(直)委員：道路運送法に基づく申請等の手続きは、コミュニティバスやチョイソコかものがわと同様に、12月～1月頃の予定という理解でよいのか。

事務局：おっしゃるとおり。

↓

資料のとおり承認

協議案件4
(事務局から、資料5に即して説明)

小松委員：評価指標「公共交通利用者数」について、計画策定時の取りまとめられていた数値が令和2年度実績値で、これはコロナ禍の影響を受けた数値でもあろうかと思う。令和4年度の現況値は、コロナ禍の影響を受ける前の令和元年度の実績値と比較することも必要と考える。

また、地域公共交通計画の期間が令和7年度までだが、既に最終目標値を達成していることについての捉え方、考え方があれば伺いたい。

事務局：まず、令和元年度の実績値は、高速バス・路線バス・コミュニティバス・鉄道・タクシーを合わせて1,506,061人であった。

続いて、最終目標については、現状、コロナ禍の影響を受けた令和2年度実績値を基にしている。計画策定当時、新たな生活様式の定着により、公共交通利用者数が元に戻らないのではないかと、という情報もあったことなどから、当時の最新の値であった令和2年度の実績値を用いた。公共交通利用者数は回復傾向にあるものの、コロナ禍以前の数値には及ばないことから、目標値の変更については、今後の推移を確認しながら検討したい。

羽田委員：モビリティマネジメントについて、バス・タクシーの乗車体験を行っているという説明があったが、チョイソコかものがわの乗車体験なども加えられてもよいのではないかと。以前のように、学校行事で大型バスを借りて移動するということが難しくなり、別の交通手段を利用するという取組が子どもたちにとって良い体験になっているよう。モビリティマネジメントについては、年1回ではなく、拡充していく方向で検討してほしい。

事務局：チョイソコかものがわの取組の一環として、千葉トヨタ自動車が「コトづくりの会」という外出機会の創出に向けた取組を行っており、当課も参加している。そういった中で取組ができるかなど検討していきたい。

石井委員：モビリティマネジメントについては、小中学生向けに乗車体験ができないかと、社内で検討を始めたところ。どうやったら、鉄道に親しみを持ってもらえるかということを考えていかなければならない。要望やアイデアなどがあれば、ご相談いただき、一緒に検討していきたい。

↓

資料のとおり承認

4 その他

事務局：次回の会議について、来年1月下旬頃の開催を予定している。改めて日程調整をした上で、委員の皆様にご案内するので、よろしくお願いいたします。

5 閉会（午後3時40分）

以上

令和 5 年12月 8 日

会議録署名人 高橋 克博